

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	CHAOS		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル	
RG	2.480	△RG	0.054	●ピン	★PAP	✕CG	■バランスホール

**テストボール：カオス**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ

番

研磨剤

**比較対照ボール：サベージ・ソリッド**

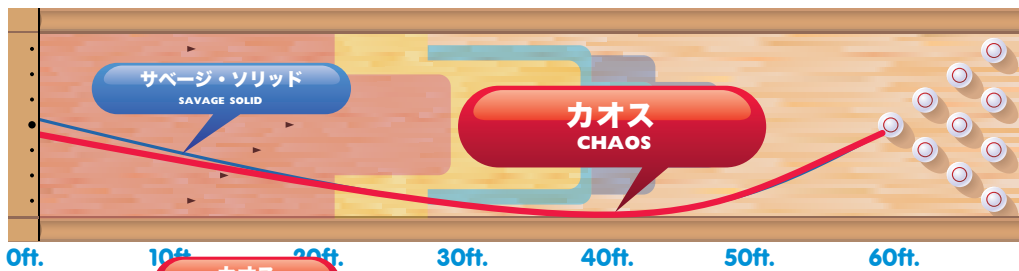
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

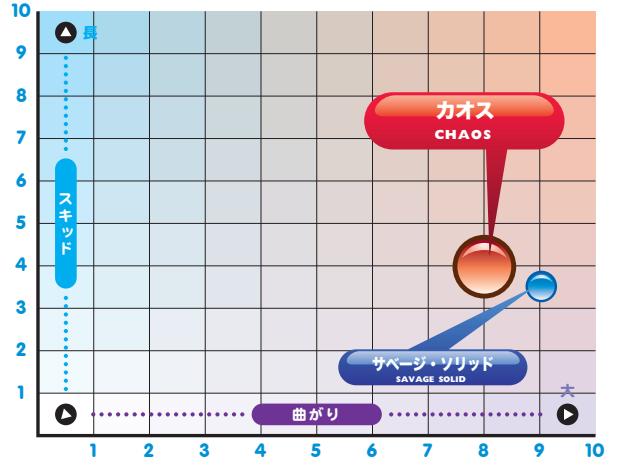
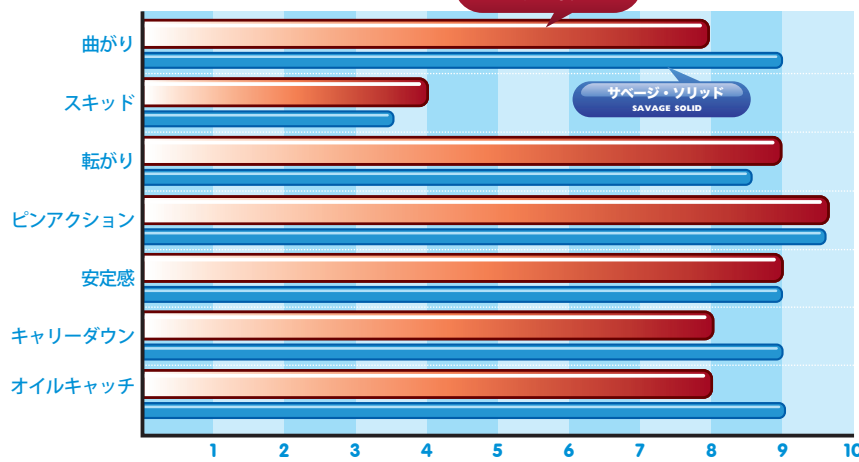
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

歴代コロンビア社のボールで印象に残っているボールは何か。様々なボールが発売される中で技術を補い、最高のパフォーマンスを得られたボールは何か。HPからUMP領域だとRock OnやBlue Pulseその後にはResurgenceやOath、Momentum Swingと続きコロンビア社の黄金時代でした。その始まりは私にはBLACK CHAOSが原点であったと思います。Black Solidの配色で重厚感と存在感があり、当時他のボールがオイルで滑るようなライン取りでもBlack ChaosだけがオイルをしっかりMidでとらえ、持続的かつ安定した軌道でポケットヒットしていた印象があります。その当時ピンキャリーも劇的に柔らかく感じていました。

コロンビア社のボール開発はここ数年の流れをみてもHybridとPearl素材の進化は劇的で、Solid素材が当たり前前に曲がるという概念から外れ、今でこそ開きは感じられるものの、ここからは各社甲乙つけがたい商品になってくるでしょう。

今回のCHAOSもHP領域SAVAGEのExciterカバーストックのHybridを使用し、Solid素材よりもややスキッドを重視しながらバックエンドの動きに着目した性能に仕上がっています。現在コロンビア社の特徴といえば、コントロール重視の開発コンセプトからSolid素材でもキャッチを伴うスキッドとバックエンドで明確な曲がりが見られる傾向が主になってきています。Hybrid、Pearl素材もSAVAGEシリーズを例えにあげると、Hybridの柔らかい曲りはじめから弓なりに切れるリアクションとPearlのスキッドとやや角がでてしっかりと軸移動する性能と、しっかり三種三様の使い分けができる仕上がります。このCHAOSはHybrid素材で新開発のCHAOSコアの特性を最大限に活かし、オイルに負けないキャッチ感と見合う奥出の動きを、一見当たり前のように感じる動きも、他のボールと投げ比べると他のボールでキャッチしきれないで投げられないラインでもポケットに向いてくる感じが見て取れる仕上がります。ぜひ一度この性能をお試しください。

### 特記事項

**投げ比べればわかる、オイルに対しての強さと奥の動きのバランスの良さ。他のボールでオイルを感じすぎて不安定なラインでもこのCHAOSは悠々と投球することができます。**